

「焼津市自衛隊協力会講演会」開催



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月25日（土）、焼津公民館（焼津市）で開催された焼津市自衛隊協力会主催の講演会を支援した。この講演会は、会員の防衛意識の高揚と更なる自衛隊の活動理解を目的に毎年開催されているもので、これまで陸上・航空自衛隊の幹部自衛官を講師に招いていたが、今年度は海上自衛隊の幹部との要望があり、横須賀地方総監部（神奈川県横須賀市）で監察官として勤務している鈴木拓哉一等海佐の招へいが実現した。当日は、焼津市副市長をはじめ、県議会議員、市議会議員長及び議員を来賓に招き、焼津市自衛隊協力会員や焼津市自衛隊家族会、自衛官募集相談員など約120人が参加し盛大に開催された。

鈴木一佐は「海へ・海に生きる仕事」と題し、海上自衛隊の魅力やアデン湾での海賊対処行動、艦長の経験談、災害派遣での様子などをわかりやすく、時にユーモアを交えながら講話を行った。終了後の質問コーナーでは、昨今の日本を取り巻く安全保障環境等に関する質問が多数あり、参加者の防衛意識の高さを感じられた。静岡地本は、今後も協力団体との連携を密にして防衛省・自衛隊の活動への理解を深めるとともに、海岸線に面している県として海上自衛官への志願者獲得に努めていく。

中学生がエアパークを見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月30日（木）、藤枝市立青島中学校の職場見学を支援した。これは「職場見学を通じて働く人たちの姿勢や考え方を学び、正しい勤労観・職業観を育て、将来の主体的な進路を考える態度を育てる」ことを目的として、同校1年生の2クラス67人が参加した。各クラスは午前午後に分かれて、航空自衛隊浜松基地に隣接する浜松広報館「エアパーク」（浜松市）を訪問。藤枝地域事務所伊藤克哉空曹長による浜松基地の概要説明を受けた後、大迫力の全天周シアターや展示されている航空機などを見学した。

その後、館内において生徒から自衛官への質問が行われ、生徒たちが考えてきた働く人たちへの質問に藤枝所長・尾崎喜浩二等陸尉と伊藤曹長が答えた。「自衛隊は普段どんな訓練をしているのか」「どんな時に達成感を感じるのか」といった32項目の質問に一つ一つ丁寧に回答すると、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入り、しっかりとノートへ書き留めていた。

また、時折滑走路から飛び立つT-4中等練習機や早期警戒管制機を見ると歓声を上げ、終了後には「航空機を見たり、自衛隊について学ぶことができて楽しかった」「また見学にきたい」「パイロットに興味が出てきた」と感想を話していた。静岡地本は、今後も学校等の部隊見学などの依頼を積極的に受け、自衛隊の活動を理解してもらい、隊員の言葉を通じて自衛官の仕事ややりがいなどを伝えていく。